

1

リビングとサニタリーの間仕切りは半透明ガラス。透ける光が空間を広々と感じさせてくれます。サニタリー側の照明を絞ると、内部はほとんど見えません。「最初はちょっと驚きましたが、慣れました(笑)。この開放感が気持ちいいですね」と妻の幸枝さん(右)



ガラスで演出する 光あふれる上質空間

透明ガラスなら硬質でクールな印象、半透明なら柔らかな表情……とガラスとひと口にいっても持ち味はさまざま。窓や外壁だけでなく、家の中の間仕切りなどでもガラスの表情を楽しむ家も増えています。そんな素敵なガラス使いの実例をご紹介します。

取材・文 / PLUS ONE デザイン / 桑原文子 (KuwaDesign)
撮影 / Style01 大木宏之・Style02 宮原輝夫・Style03 坂田峰夫

Style

東京都
齊藤さんの家
リフォーム工事費

01

約1000万円

半透明ガラスの間仕切りで 空間を広々、スタイリッシュに

この6月に結婚する齊藤さんの新居は、築25年になるマンション。外観こそ25年の年月を感じさせる貫禄ですが、スケルトンリフォームをした部屋に入ると印象は一変。ガラスとタイルのクールな空間が目の前に広がります。

まず驚かされるのが、玄関を入ってすぐ右手の半透明ガラスの壁。正確にはガラスの壁とガラスの引き戸で、その奥にある寝室からの光が廊下を淡く照らします。引き戸は幅1m60cmという大きさですが、天井から吊ってあるため動きはスムーズ。開閉音も静かです。

廊下を進むと左手にオープンなキッチンが現れ、その先は20畳余りのリビングダイニング。一角には浴室、トイレ、洗面が一体のサニタリーがあり、この空間もまた

半透明ガラスで仕切られています。「マンションのサニタリーは閉鎖的になりがちですが、なんとか開放感をと考えてガラス間仕切りにしたんです」というのは設計者の堀内雪さん。確かにリビング越しにバルコニーからの光が届き、扉を開ければ風も入る、気持ちの良い空間となっています。

「光が透けて見えるせいか開放感があって、実際以上に広く感じます」というのは夫の修さん。半透明ガラスならではの柔らかな光もお気に入りだそうです。



2_サニタリーは壁面をリビングダイニングとは対照的にダークな色調のモザイクタイル張りにしました。舟形の浴槽やガラスの洗面台など設備も大人っぽいデザインに
3_床は玄関から見通せる部分は白のタイル張りで統一。リビングにはフローリングも組み合わせて変化と温かさを感じさせています。ともに下部には床暖房を設置



元は空間を細々と仕切った3LD。光や風が入るのは東側のバルコニーからだけなので、全体を明るくするのにもリフォームの目的でした



4_向かって右側が固定されたガラスの壁、左側が引き戸。光が透け、暗くなりがちな廊下を明るくしています。「ガラスは普通の壁よりやや費用はかかりますが、空間を明るく広々と演出できます。さほどプライバシーを気にしなくていい家庭なら、こんな壁もいいのでは」と設計者の堀内雪さん
5_ガラスは木製の建具に比べ重いので、天井から吊って開閉をスムーズに
6_壁、床、天井の色を統一して広さを演出。壁面やスポット照明なども効果的に配されています



…D…A…T…A…

- リフォーム面積/64.2㎡ (19.4坪)
- 延床面積/約64.2㎡ (19.4坪)
- 工事期間/約1.5ヵ月
- 築年数/25年
- 種別/マンション(RC造)
- 家族構成/夫(29歳)+妻(29歳)
- 設計/堀内雪(STUDIO CY 1級建築士事務所)
- ☎042-773-2247
- http://www.studiocy.com
- 施工/高政工務店
- ☎03-3417-6621
- http://www.tak-web.com